

# 活動内容報告書

団体名		一般社団法人沖縄国際命(ぬち)の電話	
活動報告 直近3か月	令和4年 10月 29日	寺小屋ハロウィンパーティー	
	令和4年 12月 17日	寺小屋ブクブクお茶会	
	令和4年 12月 日	毎週水曜日18時半～20時定例会実施。令和4年12月沖縄タイムスにて命の記事掲載。	

活動風景の写真を添付してください



寺小屋ハロウィンイベント

寺小屋ブクブクお茶会

**(一社) 沖縄国際命(ぬち)の電話**

この歌を聴いて、少しでも癒されてほしい

**沖縄国際命(ぬち)の電話**

もうひとりで悩まないで、お電話ください。

沖縄国際命(ぬち)の電話とは？

沖縄の貧困問題、低学力、低賃金、失業率、離職率など全国でもワーストを数多く記録するほど、社会問題を抱えている県です。皆さんの力になりたいと代表理事(龍門寺龍門寺住職) 比嘉門雄山氏の熱い思いから「一般社団法人沖縄国際命(ぬち)の電話」を立ち上げ、事務局長の金城寿氏とボランティアから成る相談員と共に活動中。また、相談員の中には、市町村議員、住職、会社経営者、法律家、医師など幅広い専門家が在籍しています。

毎週水曜日に龍門寺で無料相談会開催(夕方6時半～)

※1階建てのこの電話に繋がっている子供たちに子供救済的なイベントを開催しています。

※沖縄以外の相談対応、季節限定は3つの世界時差を掛けており、他の時間帯に合わせた外国人相談員がサポートできます。

ネット上からつながるネットライン沖縄国際命の電話

連絡先 090-1946-6924(比嘉門)  
連絡先 090-1870-1636(金城)

**(一社) 沖縄国際命(ぬち)の電話**

この歌を聴いて、少しでも癒されてほしい

**沖縄国際命(ぬち)の電話**

沖縄国際命(ぬち)の電話とは？

沖縄の貧困問題、低学力、低賃金、失業率、離職率など全国でもワーストを数多く記録するほど、社会問題を抱えている県です。皆さんの力になりたいと代表理事(龍門寺龍門寺住職) 比嘉門雄山氏の熱い思いから「一般社団法人沖縄国際命(ぬち)の電話」を立ち上げ、事務局長の金城寿氏とボランティアから成る相談員と共に活動中。また、相談員の中には、市町村議員、住職、会社経営者、法律家、医師など幅広い専門家が在籍しています。

毎週水曜日に龍門寺で無料相談会開催(夕方6時半～)

※1階建てのこの電話に繋がっている子供たちに子供救済的なイベントを開催しています。

※沖縄以外の相談対応、季節限定は3つの世界時差を掛けており、他の時間帯に合わせた外国人相談員がサポートできます。

ネット上からつながるネットライン沖縄国際命の電話

連絡先 090-1946-6924(比嘉門)  
連絡先 090-1870-1636(金城)

**(一社) 沖縄国際命(ぬち)の電話**

参加無料 先着20名

**ブクブク茶パーティーのお知らせ**

お家でブクブクパーティーをしませんか？

お茶を飲みながらブクブク作りを体験できるよ。おかし(お菓子作り)も楽しめるから楽しんでください！

お申し込みは先着順です。

日時: 12月17日(水)14時～15時  
場所: 龍門寺(首里城御城跡近く)

ブクブク茶とは？

琉球王朝時代より伝わるお茶で、沖縄県のみ飲まれている緑茶のよいお茶とされています。味がたっぷりしていて香りもよいのが特徴です。淹れる楽しさ、見る楽しさ、飲む楽しさ、3度楽しめるブクブク茶。ぜひ体験してみよう！

お問い合わせ先: 090-6860-2704

**生活支援相談 多言語で対応**

沖縄国際命(ぬち)の電話

【多言語】生活に不安を抱える人々の相談にホッパティアで応じている「一般社団法人(沖縄国際命(ぬち)の電話)」

事務所には世界各地の時間を示す「世界時計」を設置し、海外からの相談にはLINEのライブで対応し、現地の通話料の負担軽減を図っている。龍門寺住職は「多言語対応は、世界を繋ぐ大切な役割だ」と話している。

多言語での相談対応をえた

「一般社団法人(沖縄国際命(ぬち)の電話)」は、このほど、多言語対応できる体制を整えた。英語や中国語、ポルトガル語、スペイン語が話せるブラジルや台湾出身のスタッフがおり、外国人労働者の相談も受けられる。事務所には世界各地の時間を示す「世界時計」を設置し、海外からの相談にはLINEのライブで対応し、現地の通話料の負担軽減を図っている。龍門寺住職は「多言語対応は、世界を繋ぐ大切な役割だ」と話している。

【多言語】生活に不安を抱える人々の相談にホッパティアで応じている「一般社団法人(沖縄国際命(ぬち)の電話)」

事務所には世界各地の時間を示す「世界時計」を設置し、海外からの相談にはLINEのライブで対応し、現地の通話料の負担軽減を図っている。龍門寺住職は「多言語対応は、世界を繋ぐ大切な役割だ」と話している。

多言語での相談対応をえた

「一般社団法人(沖縄国際命(ぬち)の電話)」は、このほど、多言語対応できる体制を整えた。英語や中国語、ポルトガル語、スペイン語が話せるブラジルや台湾出身のスタッフがおり、外国人労働者の相談も受けられる。事務所には世界各地の時間を示す「世界時計」を設置し、海外からの相談にはLINEのライブで対応し、現地の通話料の負担軽減を図っている。龍門寺住職は「多言語対応は、世界を繋ぐ大切な役割だ」と話している。

## 沖縄タイムス掲載記事

### コメント

・ 沖縄国際命(ぬち)の電話は、人生に不安・悩み・苦しみを抱えている方を支援する事を目的としております。道路沿いの各所への横断幕設置により、一度は目にしたことがあると思います。昨年に引き続き、サンシャインゆいまーる2022年後期クールでは、たくさんの方々からの投票を頂き、心より嬉しく思います。サンシャインゆいまーるから支援して頂きました寄付金は、悩みがある方の命を救う手助けに使わせていただきます。

引き続き、皆様の投票宜しくお願い申し上げます。世界中の悩みが少しでもなくなりますように。